

減災のための目標(案)

円滑かつ迅速な避難や的確な水防活動の実施、及び円滑かつ迅速な氾濫水の排水等の対策を実施することで、各構成員が連携して平成33年度までに達成すべき減災目標は以下のとおりとした。

■5年間で達成すべき目標

静岡地域の豪雨災害に対し、地形・社会特性を踏まえ、「住民の防災意識の向上」、「逃げ遅れによる被害をなくすこと」、「氾濫発生後の社会機能を早期回復すること」を目指す。

■目標達成に向けた主な取組(3本柱)

上記目標達成に向けて、静岡地域における主な取り組みは以下の通りとする。

- (1)地域住民の迅速な避難と被害の最小化に向けた防災意識の向上のための取組
- (2)地域住民の逃げ遅れゼロに向けた迅速、確実な避難のための取組
- (3)洪水氾濫による被害軽減のための迅速な水防活動・排水活動等の取組

【参考】

項目	安倍川の減災に係る取組方針(国)	静岡地域の減災に係る取組方針(県)
5年間で達成すべき目標	安倍川の大規模氾濫に対し、 「住民の防災意識の向上」、 「逃げ遅れゼロ」、 「社会経済被害の最小化」 を目指す。	静岡地域の豪雨災害に対し、地形・社会特性を踏まえ、 「逃げ遅れによる人的被害をなくすこと」、 「氾濫発生後の社会機能を早期に回復すること」 を目指す。
目標達成に向けた取組	①迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識の向上のための取組 ②逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 ③洪水氾濫による被害の軽減のための迅速な水防活動・排水活動の取組	①水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保のため取組 ②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組

目標達成に向けた取組(3本柱と重点取組事項)

目標達成に向けた主な取組(3本柱)	重点取組事項
(1)地域住民の迅速な避難と被害の最小化に向けた防災意識の向上のための取組	①学校の防災教育・出前講座推進
(2)地域住民の逃げ遅れゼロに向けた迅速確実な避難のための取組	②要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ③住民の適切な避難行動
(3)洪水氾濫による被害軽減のための迅速な水防活動・排水活動等の取組	④排水計画の作成・訓練

① 学校の防災教育・出前講座推進

水害から命を守る 行動を考えます



浸水深さを子供達自身の身長で確認。



小学校の教員が子供達に「水害から命を守るため」の防災の授業を実施

授業を支援する 教材があります



地域の大人も
防災意識向上を

子どもの頃からの適切な防災教育を社会全体で取り組みましょう

② 要配慮者利用施設の避難確保計画作成

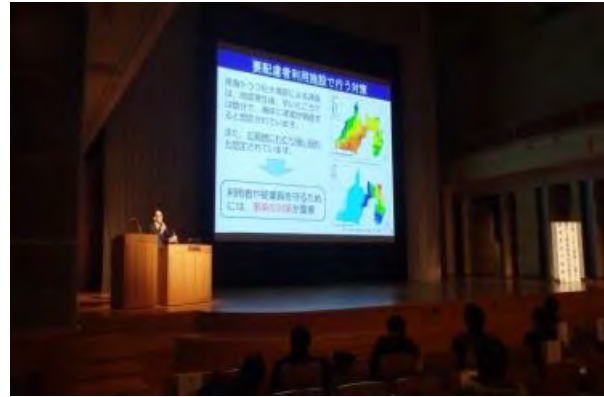
作成支援のため
事例集があります



計画作成率4%
※H29.3時点



要配慮者利用施設管理者向け説明会を開催 (H28)



要配慮者利用施設管理者向け説明会を開催 (H29)



静岡県が行政担当者向け説明会を開催 (H29)



静岡市が担当職員向け研修会を開催 (H30)

作成後は避難訓練の実施を

施設利用者の安全・安心な生活のために計画を作成しましょう

③ 住民の適切な避難行動

逃げ遅れゼロ
を目指します

防災メール
(事前登録必要)

エリアメール
(事前登録不要)



気象関連情報 など

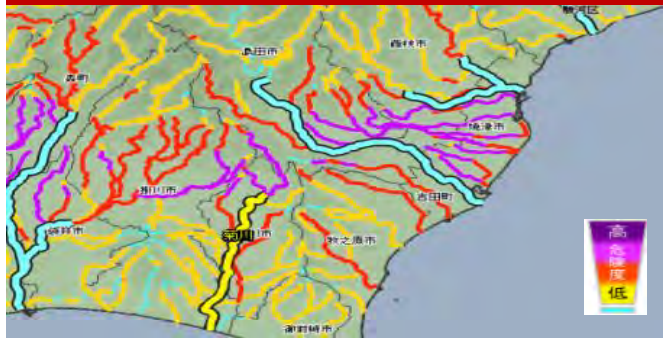
河川水位到達情報
避難情報 など

エリアメールは、命の危険が高い時に発表。すぐに避難行動を

危険度を色分けした時系列

浜松市南部		今後の推移(■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)										備考 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		21日										
1時間最大雨量 (mm)		6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9		
大雨	(浸水害)											
	(土砂災害)											
洪水	(洪水害)											
強風	陸上	10	13	13	12	12	12	12	12	12		
	海上	15	18	18	15	15	15	15	15	15		
波浪	(メートル)	3	3	4	4	4	4	4	4	3		以後は注意報級 3つわり
雷												電巻、ひょう

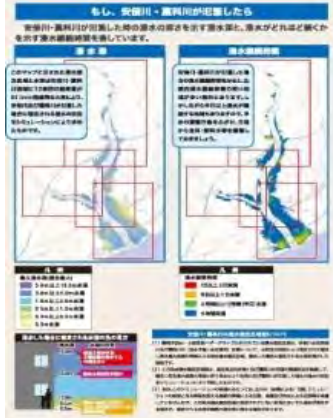
洪水警報の危険度分布



情報を色分けして分かり易く発表

地域のハザードマップを確認

防災メールやエリアメールの受信を想定した避難訓練を実施



命を守るため
避難訓練が大切

避難訓練等を通じて命を守るための適切な避難行動を身につけましょう

④ 排水計画の作成・訓練

浸水発生時の 被害軽減のため

排水作業準備計画書
(静岡市清水区江尻台町地区)



平成30年3月
(静岡市・静岡土木事務所・静岡河川事務所)

迅速な活動を行うため
排水計画を作成



関係機関と排水ポンプ車の操作訓練

被害を軽減するため、迅速な水防活動や排水作業の備えを強化します

静岡地域大規模氾濫減災協議会 取組体制

静岡地域大規模氾濫減災協議会及び志太榛原地域大規模氾濫減災協議会は、14機関で構成されており、下記の6作業分会を設置し取組を進めていきます。

分会の取組

地域住民の迅速な避難と被害の
最小化に向けた防災意識向上のための取組

○わかりやすい資料づくり分会

静岡河川事務所・静岡地方気象台・静岡県庁・静岡土木事務所、藤枝市、川根本町

○学校防災教育分会

静岡地方気象台、静岡河川事務所、長島ダム管理所、中部地域局、静岡・島田土木事務所、島田市

地域住民の逃げ遅れゼロに向けた
迅速、確実な避難のための取組

○避難情報分会

中部地域局、静岡河川事務所、静岡・島田土木事務所、島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、吉田町

○要配慮者利用施設分会

静岡地方気象台、静岡県庁、静岡・島田土木事務所、中部地域局、静岡河川事務所、静岡市、焼津市

洪水氾濫による被害軽減のための
迅速な水防活動・排水活動等の取組

○排水計画分会

静岡河川事務所、静岡土木事務所、静岡市、島田土木事務所、牧之原市、吉田町

○ダム関係分会(※大井川のみ)

(長島ダム管理所、島田土木事務所、川根本町)

※今後も、取組状況に応じて作業分会を見直します。

各機関の取組

各機関の取組(資料4)へ

各機関の取組(資料4)へ

各機関の取組(資料4)へ